

平成 23 年度第 1 回上越市（高田地区・直江津地区）中心市街地活性化協議会 議事要旨（案）

日 時 平成 23 年 6 月 2 日（木） 13:30～15:30
場 所 上越商工会議所 3 階大会議室
出席者 委員 30 名（委員総数 38 名）：
出席者の内高田のみ委員 8 名、直江津のみ委員 3 名
委員外 5 名（服部アドバイザー、オブザーバー 3 名、事業関係者 5 名）
事務局 3 名

議事要旨

1. 協議会会長挨拶

- ・ 東日本大震災で被害が広域にわたり、被災地の方々の復興に時間がかかる中、上越市でも影響は多い。被災地の復興を強く願っている。
- ・ 中心市街地は空洞化が進んでいるため、基本計画登載事業を早く実行し、中心市街地がよみがえることを願っている。委員の方々に推進役になってもらい、よみがえらせていただきたい。ご協力をお願いする。

2. 交代構成員の紹介

- ・ 事務局から資料 1 に沿って紹介。対象者は委員 10 名、オブザーバー 1 名。

3. 議事

（ア）平成 22 年度事業活動報告について

①会議開催等報告並びにタウンマネージャー設置事業報告

●事務局が資料 2 に沿って報告

協議会、運営委員会開催報告。各プロジェクト会議開催状況。経産省戦略補助金を活用した調査事業実施及びタウンマネージャー設置内容報告。

●高田地区中心市街地活性化基本計画の一部変更に伴う認定報告

- ・ 平成 23 年 2 月 14 日に開催した平成 22 年度第 2 回上越市（高田地区）中心市街地活性化協議会において、高田地区基本計画の一部変更及び新規事業登載を協議し、妥当とすることを承認。協議会長一任のもと意見書を上越市に提出することを決議した。
- ・ 提出した意見書を資料 2 内に添付し、報告。
- ・ 上越市より、協議会の協議を受け、平成 23 年 2 月 23 日に国に申請、3 月 31 日付で認定を受けたことを報告。

②城下町高田花ロード事業結果報告

●城下町高田花ロード実行委員会から資料3に沿って報告。

- ・ 経産省戦略補助金を受け、平成22年10月9～11日の3日間、本町商店街を中心に歩行者天国等市街地内で開催し、54,000人の来場。
- ・ 今年度は実行委員長が交代するなど、実行体制を一新し、平成23年10月8～10日に開催する。ファッション関係のホコテンを9日に開催するなど、新たな試みもおこなう。城下町高田としての特色を出していきたいと考えている。本年も引き続きご支援をお願いしたい。

③高田拠点整備検討事業及び旧百貨店跡地再開発に伴う調査事業結果報告

●調査受託コンサルタントが資料4に沿って報告

- ・ 経産省戦略補助金を活用し、高田拠点整備検討事業を実施。
- ・ 事業者等と協議し、平成23年2月の協議会に提出した整備事業案を作成。
- ・ また、新潟県の補助金を受け、当該施設のテナント意向調査等も実施。
- ・ 現在の中心市街地に不足している業種業態を取り入れることを目標にコンセプトを作成。

④直江津拠点活用検討事業結果報告

●調査受託コンサルタントが資料5に沿って報告

- ・ 経産省戦略補助金を活用し、直江津拠点活用を検討。
- ・ 直江津地区中心市街地活性化に効果のある民間事業の掘り起こしを目的におこなった調査検討。平成21年～22年にかけて1年半をかけて検討した。
- ・ 直江津駅前に整備された直江津学びの交流館付近を賑わい中心ゾーンとし、整備ゾーンに設定。各候補地を条件整備し、直江津学びの交流館周辺にて検討。
- ・ 導入機能・事業ボリュームを中心市街地活性化とハード事業を相互に見ながら検討を進めた結果、交流館と連携し、身の丈に合った駐車場・広場を中心としたパティオ的なにぎわい拠点の形成を目指すこととなった。
- ・ 今後の課題を解決しながら進めることを共通認識として確認した。

(イ) 平成22年度収支決算報告について

●事務局が資料6に沿って報告

経産省戦略的中心市街地商業等活性化支援事業補助金事務局支援、新潟県にぎわい保持対策費補助事業補助金を受けた他、上越市及び上越商工会議所の負担・支援金、まちづくり上越から戦略補助金等への事業者受益者負担分として、上越市まちづくり会社交付金を活用し各事業に支出したことを報告。

(ウ) 監査報告

●新井監事より、平成22年5月31日に収支決算書、関係諸帳簿、証拠書類を監査した結果適正に処理されていたことを報告。

以上、議長より（ア）～（ウ）について、委員に諮り、満場一致で承認。

(エ) 平成 23 年度事業計画（案）及び（オ）平成 23 年度収支予算（案）について

●事務局より資料 7 及び 8 に沿って説明

- ・ 協議会を 3 回、運営委員会を 2 回程度開催予定。
- ・ 今年度から経産省戦略補助金を受けられないため、調査事業、タウンマネージャー設置はおこなわない。
- ・ ただし、各事業に対して引き続き服部氏から専門的助言をいただきたいことから、中小企業基盤整備機構のアドバイザー制度を活用し、服部アドバイザーを招聘する。

以上、議長より（エ）及び（オ）について、委員に諮った。

【委員】補助金を受けられない理由を説明いただきたい。

【事務局】経産省戦略補助金は満 3 年間の支援であり、その期間を経過したため協議会として申請ができない。また、新潟県の補助金は 3 セクや商店街振興組合等でのみ受けられるため、今年度協議会として補助申請をすることはなく、各事業者が申請をすることとなる。

質疑はその他なく、議長が内容について委員に諮ったところ、満場一致で承認。

(カ) 各プロジェクトの進捗状況等報告について

①本町 5 丁目第一種市街地再開発事業の進捗状況報告

●事業者から資料 9 に沿って報告。

- ・ 事業者代表者から今までの物心共のご支援を感謝する旨が、事業者事務局より報告。
- ・ 6 月第 1 週で解体完了し、6 月 10 日に起工式をおこなう。
- ・ 平成 23 年春に基礎工事開始、同夏にビルの愛称を募集する。
- ・ マンションのモデルルームをマンション事業者が 11 月頃に開設予定。
- ・ アーケードについては、建物外壁がほぼ完成するまでは仮設アーケードとなる。平成 24 年春～夏頃に施工。

②大和跡地拠点施設整備事業の進捗状況報告

●事業者から資料 4 に沿って報告。

- ・ 平成 23 年 4 月 1 日から社長交替。新体制で臨んでいる。
- ・ 課題であった中心市街地活性化基本計画の変更が認定された。
- ・ 他の課題として、経産省戦略補助金の 2/3 補助メニューに申請するために必要な、特定民間会社となるべく、本町 3・4・5 丁目振興組合や㈱まちづくり上越から出資を受け、要件を満たした。
- ・ テナントリーシングは経済情勢もあるが厳しい状況。コンサルから核テナントとなる大手ナショナルチェーン企業に交渉してもらっている。事業者としては地元有力企業・店舗と交渉をしているが現状厳しい。

- ・ 核テナントが決まらなと施設レイアウトも決まらなとで苦慮している。情報収集に努めているが、少しでも早く決めたいので、委員の皆さまからも情報をいただけるよう願うする。
- ・ 中心市街地活性化に寄与できるような施設となるよう、テナント内容にも留意し、一つの核として存在できるよう努力していくので、今後ともご協力をお願いしたい。

③旧高田中劇会館跡地整備事業の進捗状況報告

●事業者欠席のため、議長より事業者コメントを代読。

- ・ 経済産業省戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金の第 2 次募集に係る申請が 5 月 20 日～6 月 10 日であり、その申請作業に鋭意集中している。

(カ) について、質疑応答

【委員】

- ・ 以前、旧高田中劇会館跡地整備事業に伴い、日通りの道路幅等が話題に上がっていたが、その後どのようなになったのか？

【上越市】

- ・ 経産省戦略補助金の申請内容に、道路幅の件は入っていない。

【協議会長】

- ・ 自動車の出入がしやすく、地域の安全性も高めるために、浄興寺大門通り沿いの幅に関し、地権者に相談し、協力を得ることができそうであるが、当該事業の具体化に伴い実現可能かどうかを見定める意向。事業者の他、町内会長などもそのように努力しているので、しばらく見守っていただきたい。
- ・ 中心市街地活性化に係る国の補助金は東日本大震災の件もあり、カットされていくかが心配である。国の補助金等がなければ中心市街地活性化事業のほとんどが成り立たない。

【新潟県】

- ・ 国が補助金の募集を止めているとの情報もあるが、正確な情報が入ってこない。情報収集に努め、情報入手次第ご報告したい。

【上越市】

- ・ 平成 23 年度は国交省の社会資本整備総合事業交付金が 5～30%カットされるなど影響が出ている。平成 24～25 年度は不透明であるが、上越市内部で調整し、影響が出ないように配慮したい。

【服部アドバイザー】

- ・ 国の動向は不透明であるが、そもそも中心市街地活性化基本計画は総理大臣が 5 年間という期限枠を設け、選択と集中を決定したものであり、簡単に覆すことがないよう要請をしている。
- ・ 経産省戦略補助金についても、第 2 次募集が 1 事業につき上限 2.5 億円に減らされており影響はある。来年度の予算取りはされるが、1 事業あたりの上限額が減らされることは覚悟しなければならない。
- ・ 新潟県が調査を実施し、中心市街地の買い物難民への対応を提言していた。中

心市街地のニーズとして注目すべきである。

- ・ 大和跡地整備事業について、事業者は国交省の社会資本整備事業交付金の申請準備に入っている。テナントリーシングは大型店でも見通しが立たない景況であり、当該事業でもたいへん厳しい状況である。ナショナルチェーンなどの企業は企業成立性で9月ぐらいから出店計画を立て始める。そのためにも、各企業に対し幅広くこの事業の情報を提供していく。
- ・ 5月29日に福興市が宮城県南三陸町で行われた際、直江津商店連合会と高田本町3・4・5丁目商店街振興組合連合会から協力をいただき、笹だんごを提供していただいた。たいへん好評を得て、600個すべて完売し、売上はすべて寄付させていただいた。南三陸町長からお礼の言葉をいただいているので、ここでお伝えする。

【協議会長】

- ・ たいへん厳しい状況ではあるが、中心市街地をよみがえらせるため、事業者はもちろんのこと、委員も様々なご協力をいただくようお願いしたい。

以上をもって、平成23年度第1回上越市（高田地区・直江津地区）中心市街地活性化協議会を終了した。